

【ふくだいプレス】

fukudai Press

45

2022.08

知っている？

この恐竜の愛称、

愛称は「ジュナナ」。福井県民を対象に行った公募で決定。SDGsのゴールの数である「17（じゅうなな）」とロゴマークのモチーフである恐竜が繁栄した「ジュラ紀」を掛けて考案されました。





Canon キヤノンビジネスパートナー
福井キヤノン事務機株式会社

- 福井キヤノン受賞歴 -



- 👑 ふくい女性活躍推進企業
- 👑 健康経営優良法人2022認定企業
- 👑 2020年度「ふくい健康づくり実践事業所」知事賞 受賞

感動を共有する日本一の
ソリューション&サポートカンパニー



福井キヤノン事務機株式会社

〒918-8204 福井県福井市南四ツ居2丁目1番4号
フリーダイヤル 0120-53-1811 FAX:0776-53-1815



公式サイト

\ 公式SNSで情報発信中! /





CONTENTS



福大の出来事を
ハッシュタグ「#universityoffukui」で
Instagramにポストしよう！

8 研究・教育者ファイル

- [File43] 教育学部 藤岡 徹 准教授
- [File44] 医学部 平井 孝治 助教
- [File45] 繊維・マテリアル研究センター 植松 英之 准教授
- [File46] 国際地域学部 Lombardi Ivan 講師

4 特集 学生広報スタッフが総力取材!! 福井大学 SDGs QUEST

12 青は藍より出でて
— 目利きビトが目にする学生を紹介

14 産学官連携本部発 未来への布石
コラム「知的財産・技術移転部です」第12回
FUKUDAI NEWS

16 It's My CIRCLE / connect Ufukui

17 学びのバトン
渋谷 桃佳さん (北陸銀行 福井西中央支店 融資課)

18 学長の思い出箱 BOX No.07 思いがけない笑顔

19 福井大学基金 寄附者ご芳名

※学年・所属は取材時のものです。



特集



Please answer questions about SDGs



ACTION 1

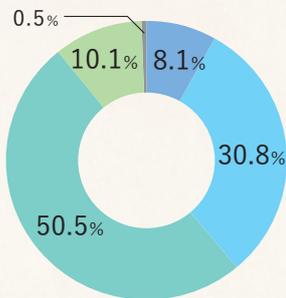
まずは 福大生のSDGsに対する意識を調査

調査期間：2022年4月19～26日
調査方法：学生ポータルで告知、Webアンケートに回答
アンケート回答人数：198人

SDGsって言葉を最近よく耳にするようになりました。でもSDGsってそこで、私たち学生広報スタッフは、福井大学内のSDGsを探り、名付けて「福井大学 SDGs QUEST」。

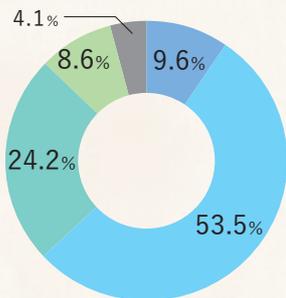
Q1 SDGsについて 知っていますか？

- 17の世界的目標、169の達成基準の内容を知っている
- 2030年までに達成すべき国際目標であるということを知っている
- SDGs(Sustainable Development Goals)が「持続可能な開発目標」であることを知っている
- マスコミなどでSDGsという言葉は聞いたもしくはロゴを見たことがある
- 言葉も知らない

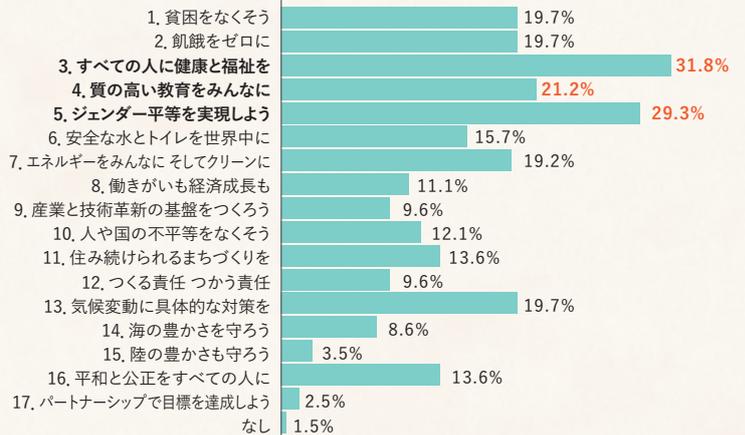


Q2 SDGsに興味がありますか？

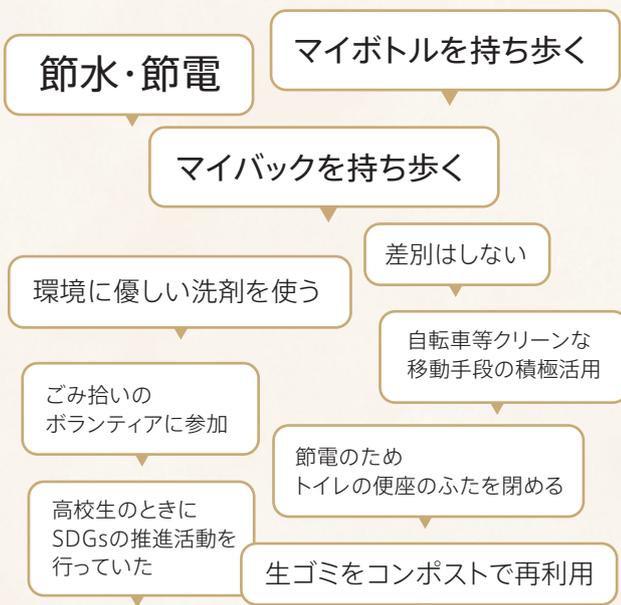
- すごく関心がある
- どちらかと言えば関心がある
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば関心がない
- まったく関心がない



Q3 SDGs17の目標の中で 関心があるものは？



Q4 SDGsについて 何か取り組んでいることは？



Q5 SDGsについて 福井大学にしてほしいことは？

REQUEST BOARD	
その場所にあった啓発ポスターの掲示。トイレなら6番、食堂なら2番、講義室なら4番・7番など	SDGs関係のイベントを増やす
小さなアクションのキャンペーン	〇〇週間、〇〇月間みたいなイベントがあったら良い
リサイクルボックスの設置	食器トレーや雑誌回収のスペースをつくってほしい
各学部・学科の観点から どういう取り組みができるのかをプレゼンする授業があってもいい	環境系の目標への働きかけの話はよく耳にするが、働きがいやジェンダー平等、教育にも焦点をあてたイベントがあると良い
構内にマイボトルに給水できる給水ポイントがあると、夏場などペットボトルを買い足さなくて済むのていいなあ	地元の企業と連携し目標に貢献する

学生広報スタッフが総力取材!!

QUEST

何すればいいの? 何が変わるの? わからないことだらけです。
学外へも繰り出し、福井県内のSDGsを求めて総力取材しました。
いったい何が見えてくるのでしょうか。

ACTION

2



Let's go to
SDGs
Promotion Office

「福井大学 SDGs推進室」に 行ってみよう

取材対象者>> 室長 松木 健一理事
(企画戦略担当・副学長)
探究者>> 竹本 和也 (国際地域学部4年)



大学としては、6年間の中期目標のなかで、SDGsの17の目標のうち6つを中心的に取り上げることにしました。この6つだけがゴールなわけではなく、6つを窓口にして入っていく。SDGsは目標のすべてが繋がっているのです。

大学がこういう目標を立てたから、学生もこうしてください、というのはSDGsの精神に反してしまふ。大学としても地域や企業と連携して、学生がSDGsに触れられるような機会を作るため、積極的に行動していきます。そういったチャンスに学生自身が一歩踏み出し、社会で求められることに対して、自分なりの答えを言えるようになってほしいですね。SDGsの17の目標を見ると、ほんといろいろあります。これって、世界にとって、地球にとって必要なこととただでなく、自分がこれからどう生きていくか、自分は何者なのか、どうしたいのかというアイデンティティの形成を考えるきっかけにもなると思います。

SDGsとは、自分がどう生きたいかを探る手がかりになるんじゃないかな。

福井大学が取り上げる
SDGs 6つの目標



TAKEMOTO'S



STEP UP

松木先生と話していて、僕の中にビビっとくる言葉がたくさんありました。自分の身のまわりにある多くの問題に対してどうしたいのか。違和感や疑問をそのままにせず、自分で感じたこと・考えたことに向かって行動する。「動かなければなんの答えもでない、動いてから考えてもいいくらい。一歩動いてみる以外に手はない」と松木先生。すごく納得できました。

ACTION

3

先生&学生に突撃取材

SDGsを考える ヒントを探して



Find tips on
SDGs

HINT ▶1

格差や差別の問題に 向き合うヒントを井出 匠 准教授 (教育学部 社会系教育講座 歴史学)に聞こう!



そもそも19世紀のヨーロッパ社会では、法の下での平等を掲げて伝統的な身分の壁を取り除いた民主主義的な社会制度を目指していました。その一方で、男女や「人種」の概念による差別、排除の正当化など、多くの課題を新たに生み出してきた側面もあります。

これらは、男性が女性を、西洋が非西洋を従属させ支配する近代という時代の基本的構造に根ざしたものともいえます。そして現在でも、国家間・地域間の格差や性別・出自にもとづく不平等など、近代社会のいろいろな課題は未解決のままに、深刻な問題として現在の私たち自身の前に現れています。

SDGsの掲げる目標は、こうした問題をどのように克服していくかという大きな枠組みを示しているものと評価できます。これに取り組んでいく上では、現在もいたるところに見られる格差や差別が、どのように、何のために生みだされたのか、その歴史的背景を知っておくことも大切なのではないのでしょうか。

探究者>> 酒井 俊典 (連合教職開発研究科1年)



格差に限らず、さまざまな世界情勢や差別問題についての歴史を知ることが、SDGsへのアプローチのひとつになる。いいヒントをいただきました。SDGsへのハードルがかなり下がかも。

HINT ▶2

バナナペーパーを使った ビジネスモデルを調査している 留学生コ・クンヨさん



私は、大学のPBLの授業でバナナペーパーの事を知りました。ザンビアのバナナ繊維をつくるバナナチームと福井にある越前和紙の技術の融合から生まれた紙です。ゴミになるバナナの茎の繊維を取り出し、越前和紙の伝統技術で製作。素材を通して、社会や環境の問題解決の一助とするビジネスモデルの取り組みを調べています。

また、日本で勉強する中で、中国と日本では、競争意識や同調性といった点で国民性に違いがあると感じています。一長一短あるそれぞれの個性を知ることが、相互理解や自分自身の成長に繋がると 생각합니다。

探究者>> 竹本 和也 (国際地域学部4年)



中国との意識のギャップを実感。日常生活の中でも、海外と比べるだけで思いもよらないことがある。自分と違う環境にいる人ともっと関わって、自分の認識・常識とくらべてみたいと思いました。

HINT ▶3

国際地域マネジメント研究科で サステナブル・マーケティングなどを教える SDGsの専門家 高井 愛子准教授に聞く



SDGsは、日本語で「持続可能な開発目標」です。国際社会に存在する環境、社会、経済の分野における課題に、世界のより良い幸福のため、途上国のみならず先進国や企業も積極的に2030年のゴール達成に行動しています。不自由のない生活環境にいると他人事になりがちですが、一人ひとりの小さな関心が、社会意識の変化を巻き起こす原動力です。皆さんも、友人や家族、バイトや就活を通じて企業や社会と結びついています。自分に何ができるか、一緒に企業の取り組みを通じて考えていきましょう。

ACTION 4

いざ、学外へ。
福井県内でSDGsの活動に注力している企業に突撃



CASE ▶1

株式会社 鮮魚丸松

鮮魚をいかに廃棄せずに届けるか。
フードロス対策に邁進



取材対象者 >> 五島 輝幸さん (株式会社 鮮魚丸松 代表取締役)
探究者 >> 河津 一加里 (国際地域学部3年)

近頃、水産資源は激減しているんです。福井県内でも、ある特定の魚の水揚げがなくなったり、逆に需要以上の漁獲になったりしています。水揚げ量が減少すると、市場価格が高騰。越前赤ガレイの相場は5倍くらいに跳ね上がりました。逆に同じ魚種がドカンと大量に水揚げされると、価格は低下しますよね。値段は安いけれど、売り切れない量が廃棄されることになります。

そういった問題を解決するために、弊社では新たに食品加工工場を建設して、魚の細胞を壊さないテクノロジーの冷凍設備を導入。大量に獲れたものも一旦冷凍して、需要に応じて解凍し商品にするという廃棄を出さない事業モデルを運用し、成果が出てきています。この冷凍方法は、最近、増殖して問題になっているアニサキスによる食中毒も防げます。魚を新鮮な状態で、おいしく長期保存する試みが、食品ロスを減らし、食の安全にもつながる。魚の需要が均等化されるため価格が手ごろで消費者も買いやすくなります。

いろんなことを先回りしながら考えることが、最終的にSDGsの取り組みに繋がってきています。



企業の安定的な利益を確保しつつ、フードロスの問題も、食の安全もクリアにする、いろんなことがWIN-WINになる試みが繋がっていました。冷凍設備は相当な値段がしたそうですが、それよりも環境資源を大切にしたいという思いが伝わってきました。この冷凍設備を活用した、フードロス・メニューの開発、ぜひコラボしてやってみたいです。

CASE ▶2

永和住宅グループ

若手社員から自主的に沸き上がった
SDGsチーム



取材対象者 >> 永和住宅グループ SDGsチームのみなさん
(田中 隆三さん、大南 友吾さん、谷本 和哉さん、畑 允子さん、重村 哲郎さん、坂本 滉二郎さん、木澤 竜也さん、藤田 勇希さん、清水 明佳さん)
探究者 >> 河津 一加里 (国際地域学部3年) 上野 瑞生 (同2年)

弊社は創業時から一貫して国産材や福井県産の原木を使った住宅を提供してきました。自然素材や無垢材にこだわり、原木を調達し、弊社の工場で角材にし、羽柄も弊社内で加工しています。ですから、SDGsの「つくる責任 つかう責任」「住み続けられるまちづくりを」や地産地消の考え方で以前からさまざまな取り組みを行っています。そのひとつは住宅建設の現場やその近隣の清掃活動。福井県内で年間180~200棟を建てていただいているので、もしかしたら福井県中をきれいにできるんじゃないか、くらいの意気込みで。現場スタッフだけでなく、営業担当や建築士やデザイナー、協力会社のみなさんも参加しています。

将来的には、植林など山林の管理についても考えていきたいです。福大生のみなさんも一緒に林業を盛り上げる提案を考えませんか。SDGsをテーマにしたモデルハウスを建てるっていうのも面白いですね。

SDGsがすごくいいなあと思うのは、自分の行動が環境に貢献しているんだとか、会社はこんな目標をもって行動しているんだとかが見えてくること。それがやりがいやモチベーションの向上に繋がります。



全社員の名列し、会社としての活動とは別に個人として目指すSDGs目標のロゴが入っている。例えば、7番の「エネルギーをクリーンに」を目標としている人は、車をハイブリッド車にして、エコモードで走行しているんだそうです。



「植林の話、面白かったよね。イベントとかも考えられそう」「SDGsをテーマにしたモデルハウスで、男性も家事をしやすい間取りとかどう?」とにかく、みなさんいろんなアイデアを持っていて、会社としてだけでなく、一人ひとりが日常生活に落とし込んで考えて素晴らしいです!

SDGsに繋がっていた 「共に生きる」という理念



取材対象者〉高村 昌裕さん（社会福祉法人 足羽福祉会 理事長）
探究者〉増田 葉月（国際地域学部2年）

福祉の仕事は、SDGsの目標と多くの共通点があり、活動を続けることそのものがSDGsに繋がっているともいえます。障がいを持つ人や、介護が必要な人、貧困問題を抱える人など、SDGsでいうソーシャルな部分に重なる役割があるから。ただし、私たちは、福祉の対象者だけでなく、そのご家族が住む地域全体を豊かにするため、過疎やコミュニティの衰退といった課題にも寄り添うことも意識して活動しています。さらに、福祉を担う職員やスタッフは、人そのものが資源であり、財産であるので、働きやすい環境づくりへの取り組みも進行中。職員は女性がほとんどなので、女性のライフスタイルを尊重した法人創りにも注力しています。

私たちの仕事は24時間、365日、人を支えることです。いくつもの福祉施設を運営しているので、水や電気などエネルギーをたくさん使い、おむつなど処理しにくいごみを出すなど、環境への視点が今まで弱かったという一面にも気づきました。今後の課題は、環境にやさしい施設運営の取り組みです。

MASUDA'S



STEP UP

福祉を必要としている人はもちろん、そのご家族の生活も含めた地域をサポートしたいと語る高村さんの志に感心しました。日頃から施設利用者や街の人との繋がりを大切にしていってほしい。ここには取り上げられなかったけれど、「認知症カフェ」など私たち学生とコラボできるかもと思いました。発信力が弱いとおっしゃっていたので、そのあたりも改善策が見つかるといいな。

SDGsは笑顔に繋がるもの。 お客様もスタッフも子どもたちも



取材対象者〉伊藤 理恵さん（まつや千千 若女将）
探究者〉増田 葉月（国際地域学部2年）

宿泊のお客様に提供する料理は、福井県産のお米はもちろん、海や山の食材をふんだんに使うなど、地産地消の取り組みでSDGsに繋がっています。地酒の提供にも力を入れ、県内に30ある酒蔵のうち、約半分の蔵のお酒を冷酒グラスでご注文いただけます。

お客様の立場になって考えるのが「おもてなし」。ロビーで迷っていらっしゃるなら「どちらからお探でしょうか」とか「私共でお手伝いできることはございませんか」とかこちらから声をかけるなど、お客様の近くに寄り添うように日々努めています。

24時間営業ですので、従業員やスタッフの健康や働き方にも注力しています。社員寮に併設されている託児所「ペンギンハウス」は、朝の6時から夜10時まで、スタッフのお子さんを安心して預けられます。楽しいイベントも定期的に開催。

SDGsは笑顔に繋がるもの。お客様はもちろん、スタッフも、未来ある子どもたちの笑顔のために、これからもSDGsの取り組みを考えていきたいと思っています。

MASUDA'S



STEP UP

福大生となにかコラボするとしたら?と訊ねると、福井の魅力発信する宿泊プランや、地産地消食材を使った料理のプランと一緒に考えたりするのはどう?見て楽しいお品書きを書いたり。楽しそう!「楽しくなきゃ、考えられないでしょ」と笑う伊藤さんに、SDGsは笑顔に繋がるものとおっしゃった通りの真顔がありました。

ACTION

5

高橋 愛さんの 頭でっかちにならない選択方法

取材対象者〉高橋 愛さん
探究者〉榎井 聖佳（国際地域学部4年）&広報スタッフ全員

今、着ている服の一部は、私のオリジナルブランドで、土に埋めると3カ月で分解して、栄養分にもなるという生地を使っています。そんな生地があるなら、それにしようよ。福井で作ってるの?私も福井出身なので、じゃあ、それにしましょうって、軽い気持ちで選びました。「SDGsじゃなきゃだめ」とか「環境に配慮しているものを考えなきゃ」と頭でっかちにならずに、スタッフさんやまわりからのヒントを得て、いろんな知識を学んでいく感じ。選択肢のなかで、せっかくだからいいものを使いたいよね。そうやって作っていく作業が楽しい。楽しくないと続かないでしょ。

SDGsの目標の中で「ジェンダー平等を実現しよう」って、

いいですね。これがあって、以前より生きやすくなったかな。同性愛についても、先輩後輩、上司部下の関係においても、楽になった人が増えているんじゃないかな。逆に、SDGsとして注目されることで、反発する意見も出てきている。そういうことを見ていると、自分と違う意見を否定せずに、そういうふうにいる人もいんだなって理解することが大事だと思うんです。そうすれば無意味に戦わなくてすむんじゃないかな。

ジェンダーに限らず、SDGsを決められたルールと考えるのではなくて、何か自分のなかのひっかかることについて、なんだろう?私はこう思うな、と落とし込んで、自由に発信するのがいいと思っています。

モーニング娘。第5期メンバーとして10年在籍し、第6代リーダー及び、Hello! Projectのリーダー。卒業後は女優としてミュージカルや舞台・ドラマにて活躍し、現在は幼少期から大好きなファッション誌にモデルとしても多数出演中。最近では自身のこだわりを活かした各ファッションブランドとのコラボアイテムも展開。2011年より地元・福井の『ふくいブランド大使』に就任。



MASUI'S



STEP UP

自分の意見が一般的ではないことが発言しない理由にはなくなくて、相手とディスカッションをして、その理由に納得出来れば自分の意見を変えればいい。そういった柔軟な感覚こそ大事と教えて頂きました。色んな立場や意見があり、正解が一つとは限らない今の世の中で、自分の意見を持つことが大切だと思いました。

Ending

SDGsと言うと何か難しく考えがちで、ハードルが高い印象でした。しかし、取材を進めると、身近な話題にSDGsの要素が散りばめられていました。環境問題だけではなく、歴史、住宅、晩御飯のお魚についてもSDGsが関係しています。

私たちはこのことに気づいたばかりです。2030年は、私たち学生の世代が主役の時代です。皆さんも自身で考え、一歩踏み出して行動に移しませんか?私たちも引き続き取材を進めて行きます。



特別支援教育を通して 共生社会を目指す

藤岡 徹

FUJIOKA Toru
教育学部 准教授(特別支援教育)

Profile

1984年、栃木県生まれ。2007年、信州大学教育学部教育カウンセリング課程卒業。2009年、筑波大学大学院人間総合科学研究科修士課程修了。2012年同博士後期課程修了。2012年より、福井市のクリニック心理スタッフを経て、2014年福井大学医学部精神医学領域学術研究員、2016年同大子どものこころの発達研究センター特命助教。2019年より現職。公認心理師、小学校教諭免許、養護学校教諭免許、保育士。

It's My Favorite!

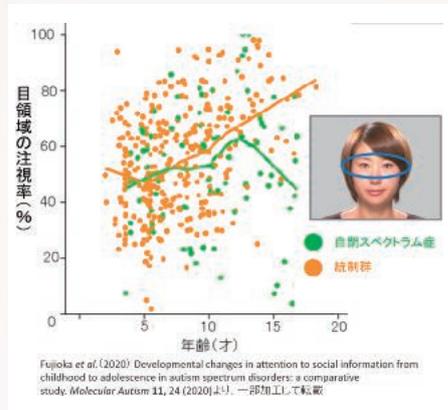


昨年生まれた娘と出かけることが楽しみです。休日は、家族でいろいろな場所に出かけています。

科学的な 根拠に基づいた支援を

特別支援教育は、その子にとっての目標を定めるところから始まります。その子の生活や今後の人生に何が重要か、その事柄はどうしたら習得できるかを考えるのですが、「生きるとは何か」「人間とは何か」「社会とは何か」そして「教育とは何か」などを深く考える必要があります。教育の原点といえるのではないのでしょうか。今後まだまだ考えることもやるべきことも多く、奥深い領域の一つであると思っています。

私の現在行っている研究に、視線計測があります。発達障害の一種である自閉スペクトラム症(ASD)の方は目などの社会的情報をあまり注視しないという特徴があります。これまでにASDのお子さんは10歳前後を境に目への注視率が下がることを明らかにしました。これには「不安」や「その他の物への関心が高い」など様々な要因が関連していると考えられ、その要因を1つ1つ明らかにしています。ASDの方は、目を見ると緊張がとても強くなってしまいますので口や喉元を見ながら話すように、教育・福祉・医療などの臨床現場でアドバイスされることがよくあります。私の研究は、このような臨床的な取り組みに科学的な根拠を提供することにもなっています。これからもASDの方の日常生活に役立つ研究を進めていきたいです。



知識や経験を次の世代へ

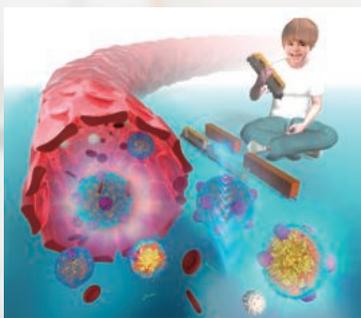
学生の頃、授業で福祉施設を訪ねたおり、障害のあるお子さんと接する楽しさとともに、支援にあたっての知識や考え方の重要性を感じました。教員免許取得を目指す学生には、特別支援や障害に関する知識に加え、多くの人の経験や思いも知った上で、一人ひとりを尊重して子どもたちと接してほしいと思っています。その姿勢を見た子ども達が大人になれば、お互いがお互いを認め合い、尊重し、障害の有無に関わらず人々が過ごしやすい世の中になると思います。そのためにも、特別支援教育の立場から教育・研究を進めていきたと考えています。

摂食障害と出会い、 自閉スペクトラム症 (ASD) 研究へ

私が東京で看護師をしていた十年ほど前、重度の摂食障害の患者を担当しました。当時十代後半の女性、身長155cmほどで体重は20kg台でした。痩せることに固執して無理なダイエットを続け、食べては嘔吐を繰り返したあげく、心が辛くなり自傷を繰り返すなどして心身ともに疲弊していました。この女性は、今も社会復帰が叶わずにいます。どうすればこの女性を救えたのか。答えは見つからず、悔いが残っています。この経験が、私を今の自閉スペクトラム症 (ASD) 研究に向かわせたのです。

摂食障害は、ASDの人にも多いと気づいたことが発端です。ASDは神経発達障害の一つで、社会的なコミュニケーションや人とのやりとりがうまく出来ない、興味や活動が偏るといった特徴を持っています。感情や認知といった部分に関与する脳の異常だと考えられていますが、本質的な仕組みは分かっていません。本学でも様々な研究が進んでおり、子どものこころの発達研究センター・松崎秀夫教授らは、血液中の脂質の輸送を担う超低密度リポタンパク質 (VLDL) が、ASDの人では減っていることを発見しました。

そこで私は、VLDLがリポタンパクリパーゼ (LPL) という酵素によって分解されることに着目し、ASDの人の血液中LPLの活性と濃度を調べました。ASD男性と定型発達男性の各28人を比較。その結果、ASD男性の血漿におけるLPLの活性と濃度の比は有意に高いことが分かりました。私は、LPLがASDの原因に関わっていて、将来、根本的な治療が究明される可能性もあると期待しています。



ASDの人の血管内を流れるリポタンパク質 (イメージ)

社会が理解を深めることこそ

ASDの人は、大人になってから社会とうまく付き合えないことで、ようやくASDだと気づくケースがあります。一方、得意なことや特別な才能を活かし、社会で活躍できる人も少なくありません。この症状の根本的な治療への道のりは、まだまだ遠いと思います。私たちがASDを理解し、ASDの人が社会に加わりやすい環境を創ることは、誰にとっても暮らしやすい未来になるのではないのでしょうか。

ASD： 血液の脂質からアプローチ

平井 孝治

HIRAI Takaharu
医学部 助教(コミュニティ看護学)

Profile

1987年、富山県生まれ。2020年、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所修了。2010年、国立精神・神経医療研究センター看護師。2013年、新潟医療福祉大学健康科学部看護学科助教。2017年より現職。



It's My Favorite!



第3子の安産祈願にいったときの写真です。子育てがんばるぞー!

未来の複合材料を 目指して

植松 英之

UEMATSU Hideyuki

繊維・マテリアル研究センター 准教授(高分子物理化学)

Profile

1982年、山梨県生まれ。2006年3月、山形大学大学院理工学研究科博士前期課程 機能高分子工学専攻修了。2009年9月、山形大学大学院理工学研究科博士後期課程 物質生産工学専攻単位修得退学。2010年9月、博士(工学)学位取得。2009年11月山形大学大学院理工学研究科研究助教授着任、2012年11月同研究科講師、2017年12月福井大学学術研究院工学系部門准教授、2019年4月に福井大学繊維・マテリアル研究センター 准教授となり現在に至る。

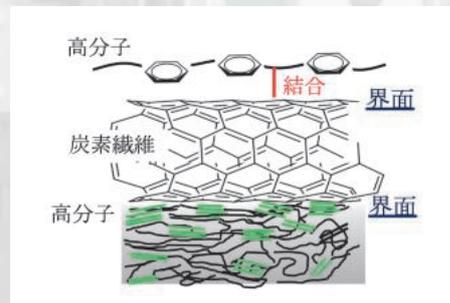
It's My Favorite!



家族で季節を感じられる場所に出かけることにハマっています!

素材同士の「界面」を究める

炭素原子同士がかごの目のよう結び合った炭素繊維を、高分子(プラスチック)と組み合わせた複合材料(CFRP)は、強く軽いことから航空機や自動車、ゴルフシャフトなどのスポーツ用品に至るまで幅広い分野に利用されています。髪の毛のおおよそ1/10の太さしかない炭素繊維だけでは形あるいは物にならないために高分子が必要不可欠です。利用される環境や目的(例えば耐熱性、耐薬品性など)に応じて相方の高分子を選び、どのように組み合わせる(複合化する)かが材料の性能を決めるターニングポイントになります。私はこの炭素繊維とプラスチックとが接着している界面(物質と物質が接している境界)を分析し、その接着性が複合化条件で異なる理由について理論的な解明を行っています。実際、炭素繊維といっても粗さなどの表面の状態が様々で、高分子も多くの種類がある中で同じナイロンであっても界面での物性は千変万化です。社会で使用されている複合材料の多くは、様々な材料で試行錯誤を繰り返して目的に沿った特性を達成されたものです。界面接着性が理論的に理解できれば、複合材料の改良あるいは新しい複合材料開発の効率化に繋がります。



「高分子と炭素繊維界面」

社会に直結する研究

福井県は繊維王国と呼ばれ、繊維にまつわる研究、開発が盛んです。県内メーカーのCFRP製造技術は世界的に秀でていますが、界面接着性の制御に課題があります。私の研究は、福井県工業技術センターなどと共同で、地域に貢献したいという狙いが根底にあります。CFRPの界面問題に高分子の物理化学の視点でアプローチする試みは日本では珍しく、企業からの相談も多くあります。研究室の学生は、在学中に企業の研究職のような経験ができ、ものづくりのリアリティだけでなく研究が社会に直結していることを実感できると思います。

既存の廃棄されたCFRPから炭素繊維を取り出し再利用するための研究、あるいは、接着の理解を解体あるいは分解させるための技術開発に応用し、循環型経済を実現できる複合材料を目指しています。

効率的な言語学習を 探究する

Ivan Lombardi

Lombardi Ivan
国際地域学部 講師(第二言語教育)

スピーキング

上達のカギは「気づき」

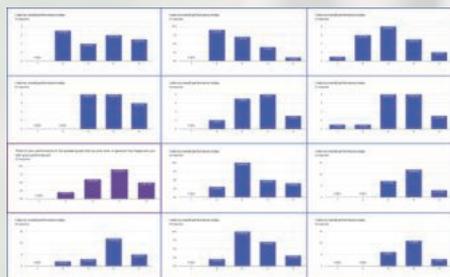
長いあいだ英語を勉強しているのになかなか話せるようにならない、と感じたことはありませんか。それは自分の「上達」に気づけていないことが原因かもしれません。私は母国語以外の言語の習得において、「Awareness(=気づき)」がカギになるのではと着目し、スピーキングスキルの成長に効果的な学習方法を探究しています。

ライティングと違い、スピーキングは自分が以前どのくらい話せたのかを忘れてしまいがちです。そのため成長過程を把握しづらく、学習効率の低下につながっているのです。私の授業では、毎回録音して今の自分と何が違うのか、過去の録音を聞き学生に振り返ってもらうことで、従来の「なんとなく上達している」から「はっきりとした上達の度合い」について「気づき」が得られるようにしています。

研究者であるとともに、 言語学習者として

研究としては、学生の振り返りだけでなく、アンケートやインタビューを行い、学生が感じた難易度や、それが学生のスピーキング力の成長にどう影響したかなどのデータを蓄積しています。そのデータ分析を背景に授業を組み立て、それぞれの学生はいま現在、何ができ、どのレベルが把握し、ガイドラインに沿った客観的な外国語力の上達につなげています。

翻訳ツールのめざましい進歩により、勉強しなくても様々な国の言語に触れ、やりとりすることが容易になりました。まるで新たな言語を勉強する価値がなくなったかのように思われますが、その国の文化や歴史に培われた繊細なニュアンスを、正しく汲み取ったり表現したりすることは困難です。そこに言語を学ぶ価値があり、多様な国の固有の文化などを深く知るために、何十年先になっても言語を学びたい人は居続けるでしょう。私自身も、研究者であるとともに言語学習者です。今後も新たな言語を身に着けたい人たちがいる限り、「最も効果的な」言語学習ツールを究めていきます。



Perceived performance development
for B1-level tasks (April-May)
スピーキングパフォーマンス向上の実感(中級レベル、4~5月)

It's My Favorite!



イタリアの家庭ならどこにでもある「モカポット」で入れたコーヒーを越前焼のカップで飲んで、イタリアと福井の文化を融合させて楽しんでいます。



青は藍より出でて

青は藍より出でて、藍より青し——荀子『勸学』からの成語です。荀子は、修養を積むこと（徳性を磨き、人格を高める）で、青は藍より青くなると説いています。福井大学のメインカラーは折しも「青」。藍より出でしみなさんの修養を、自薦・他薦にこだわらず、ここに紹介していきます。

目利きピト

才能・性格などを見分ける能力を備えた人。このコーナーでは、目利きピトが目指する方々を紹介します。

「青は藍より出でて」に出ただけの方を募集しています。

自薦他薦は問いません。応募者氏名・所属・学年・連絡先、推薦する人の氏名・所属・学年・推薦理由を明記しE-mailで申込みください。後日、広報課から連絡します。

E-mail sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

学生の提案が実現！
中高生向けの
チラシ作成

西端 柚莉さん 徳永 有花さん
福島 樹美さん 伊藤 ひかりさん
松澤 四葉さん 方便 朱賀さん
栃川 真美さん
(国際地域学部 国際地域学科2年)

目利きピト

国際地域学部
A 准教授



国際地域学部生が考案したボランティアの啓発チラシが福井市内の中学、高校に配布されます。学生らは同学部の2021年度1年次の課題探求プロジェクトの授業で「地域福祉の課題とそれを支える中間支援団体」をテーマに福井市社会福祉協議会を調査しました。2021年11月に行われた報告会で、中高生に向けたチラシの作成を提案。SNSに頼りがちな若い世代へのアプローチを、アナログでありながらも中高生に確実に届くようにと、学校でチラシを配布するという提案やデザイン案などが市社協から評価され、実現しました。この授業が終わったあとも、市社協と協議を重ねデザインやキャッチコピーをブラッシュアップしました。イラストやデザインは伊藤さんが担当。気

軽に応募しやすいようにと、[LINE](#)公式アカウントや応募・相談用のGoogle フォームの開設を市社協に打診したところ、こちらにも実現しました。

学生らは「高校の探究活動は提案まででしたが、今回、連携先の方の協力もあり、実現できて自信に繋がりました。今後の課題探求でも効果が出る提案をしていきたい」と、より実践的な学びに意欲を見せています。

目利き POINT

4歳からピアノを習い始め、数々のコンクールで受賞している金田さん。音楽を続けているのは、楽しいからではなく常に近くに音楽があって義務感のようなものを感じていたから。18年間続けていると自分の感情にあわせて演奏することができ、遊び道具のようなものでした。そんな金田さんと音楽のスタンスが変化したのは、教育学部の探求ネットワークでのこと。先輩は参加した子どもたちと盛り上がり上がっているのに対し、金田さんは上手くコミュニケーションできないことがあったそうです。その状況を救ってくれたのが音楽でした。子どもたちの知っているゲーム音楽をきっかけに話が弾み、今までで一番楽しかったと言ってもらえ、この経験をきっかけに音楽を生かす教員になりたいという気持ちが強くなったそうです。

教員採用試験の勉強のために音楽との距離をもったことで、気付いていなかった音楽の良さに気付きます。好きになり、自分の存在意義や大切さも実感できたそう。音楽を通した人との関わりは、知識以上の事を伝えられると考え、自分の経験を伝えることで、子どもたちに自分の大切さに気付いてもらえたらと話しています。



目利きピト

教育学部 OG
Hさん

大学での学びが
音楽を
より大事なものに

金田 潤之介さん
(教育学部 学校教育課程4年)

人生の門出を 祝う看板の制作

目利きピット

総務部総務課
Fさん

山田 菜生さん（教育学部 学校教育課程3年）
大島 美礼さん（工学部 応用物理学科3年）
大味 真悠子さん（教育学部 学校教育課程3年）



毎年、福井大学の学位記授与式や入学式の会場で、立て看板と並んで卒業生や入学生が記念撮影しているのを見たことはありませんか。美しく、力強く書かれたあの看板。実は書道部の皆さんが制作しているものなのです。

人生の門出を祝う看板制作は「写真や思い出に残るため、重みを感じる」と大味さん。記念撮影を想定し、分かりやすく、かっこいい書体に各自でアレンジを加えているそう。コロナ禍前は、学内の部室等で制作していましたが、今年は部活動が制限されていたため、自宅に持ち帰って揮毫。看板は自分達の身長より高く、自宅の限られたスペースでは文字のバランスをとるのが難しく、写真に撮って何度も確認したそうです。大きな半紙や筆を持ち帰るのも、完成した作品を大学まで持ってきて看板に貼りつけるのも一苦労。

大変な作業ですが、看板と記念撮影している学生を見ると「書いてよかった」「千人近い人に自分達の作品を見てもらう機会は少ないから嬉しい」と笑顔になる三人。書道は、精神が鍛えられ、書いていると気持ちが落ち着くそうで「社会に出ても続け、書道で得た経験を活かしたい」と語ってくれました。

目利き
POINT

『僕たちの周りには、良い場所や凄い人達が様々な場所に散らばっています。』この文章は大桑さんと中島さん自身が撮影・編集を行い、自費出版した雑誌「Dots（ドッツ）」の冒頭文です。

大桑さんは石川県、中島さんは愛知県出身。二人は大学進学で福井に来て、若者の活動の場がないことに驚いたそうです。しかし、大学生活の中で、福井の知人が増えていくと、メンズカットアジア4位のヘアスタイリストや有名アパレルのデザイナーなど、凄い人がたくさん居ること、また、近所のちょっとした風景にも『いいところ』がたくさんあることも知りました。二人は「**これらを多くの人に知ってもらいたい。しかもSNSなどのデジタル媒体ではなく、温かみのある紙で伝えたい**」

目利き
POINT

との思いでまとめ、雑誌を制作しました。雑誌は自身と同世代の若者に読んでもらうため、写真の構図やアングルにこだわり、レイアウトなどは有名ファッション誌を参考にしました。「福井の『いいところ』が詰まったこの雑誌が刺激となり、若者の活動の場と表現の場が増えて行けばいいですね」と二人は話しています。



目利きピット

広福くん



福井の『いいところ』
詰め込んで

中島 大輔さん
（工学部 物質・生命化学科4年）
大桑 天斗さん
（大学院工学研究科博士前期課程
知識社会基礎工学専攻1年）

未来に向けた準備

長谷川翔一さん（医学部 医学科5年）
山あかねさん（医学部 看護学科4年）

目利きピット

医学部
安倍 博 教授

“Hello. How are you? I'm doing well. Thanks.” 画面を通じて、あいさつが行き来します。これは、今年1月に行われた本学医学部生とアメリカ・クレムソン大学生とのオンライン交流会（Global Chat）の様態です。この交流会は「国境を越えて友人を作る」、「日米の医学教育を互いに知る」ことを目的として、英語でChat（お話し）することで国際的な人脈をつくるものです。



長谷川さんはコロナ禍で海外への渡航が困難だったことから、英語に触れる機会を求めて参加。「アメリカで医師を目指す学生から同国の医学教育について話を聞きました。彼らの意見や勉強量は大変刺激を受けました」と話し、山さんは、海外の様々な文化や価値観を吸収したいとの思いで参加。「アメリカで医師を志す学生と話せる機会は、自身の今後プラスとなりました」と、この会に参加できた事を喜んでます。

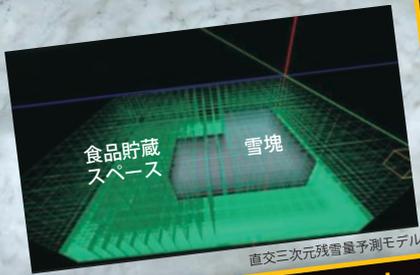
将来、医学留学やジャパンハートなど、海外で医療経験を積むことも視野に入れている二人は「**学生である今でも、かつコロナ禍の中でも、未来に向けた準備は出来る**」と話します。

目利き
POINT

HI-SAC

福井大学
産学官
連携本部

Headquarters for Innovative Society-Academia Cooperation



University of Fukui

雪室の神秘

かつての冷凍倉庫に積まれているのは約180トンの雪。ここは雪の力で冷やす天然の冷蔵庫「雪室」。日本では「日本書紀」などに氷室の記録が残っており、奈良時代には冬の雪や氷を保存し、春から秋に活用していたとされています。雪室は1年を通して温度のゆらぎが少なく低温に保たれ、また相対湿度90%以上の高湿度環境下にあります。低温に置かれた食品は冬眠しているかの状態になり劣化・酸化が抑えられるうえ、食品が乾燥せずに新鮮さを保ちやすく、不快成分が抑制されるため食品の風味が向上すると言われています。さらに冷蔵庫のように機械的な振動や光や温度の変動の影響を受けにくい状態で保存されるため、雪室は環境ストレスが少なく、食品の保存に適した環境です。

本学工学部 建築・都市環境工学科 寺崎寛章講師は福井県勝山市にある奥越前かつやま雪室で雪利用の研究をしています。雪室を一定期間安定的に利用するためには外気温などの影響による雪の残雪量と室内の温度の関係が重要となります。つまり雪室内に何トンの雪を入れた場合に、室温が何度になり、それがいつまで続くのかを予測することにより、雪室内に保存した食品の適切な管理に役立ちます。なお、雪1トンの利用を石油で換算すると約10リットル分、CO₂換算で約30キロ分が削減できると言われており、雪氷熱エネルギーを利用することは脱炭素化を後押しします。

この研究を通して、雪の利用を促進させることでSDGsにも繋がるのが期待されます。

FUKUDAI

NEWS

武生東高校と 教育研究交流に関する協定を締結



福井大学国際地域学部は、福井県立武生東高等学校と教育研究交流協定を6月8日に締結しました。

本協定は教育及び学術研究を推進する上で必要とする分野において、講義・授業及び共同研究等の実施とこれに伴う学生・生徒、研究者・教員の交流を行うものです。

締結式では、岡崎英一国際地域学部長が「本協定を基盤として高大連携の推進、拡大を図っていきたい」と話し、福井県立武生東高等学校の入羽弘之校長は「大学の持つ専門的な知識を理解し、生徒が問題解決に向けた具体的な方策を学び、課題に取り組んでいく学びの深化を期待している」と挨拶しました。

本協定により、令和5年度から同学部の授業「課題探求プロジェクト（PBL=Project Based Learning）※」に同高の2年生が参加し、課題の解決に取り組めます。

※国際地域学部の授業「課題探求プロジェクト」は学生が1年次から県の企業や自治体に向向き、ヒアリング調査から課題を探り、その解決方法の提案や実行に取り組む実践的な学びの科目です。

トピックス

本学医学部に 高度生殖医療センターが開設されました



センター前でのテープカット

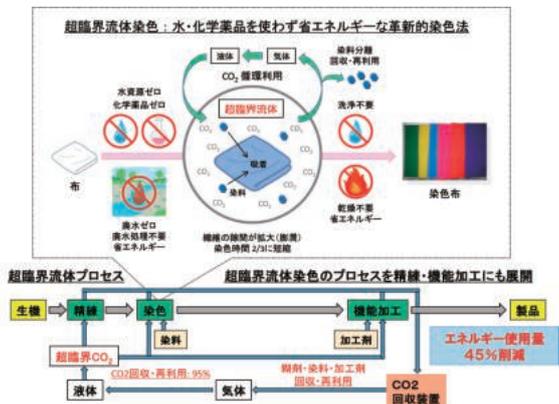
センター内を案内する折坂誠副センター長（右）

本学では、福井県内の不妊に悩む人たちに高度な治療体制を強化する目的で、福井県による令和3年度不妊治療中核施設整備事業の支援を受け、高度生殖医療センターを設置しました。

本センターでは「くすりや検査はかかりつけ医」、「人工授精や体外受精・顕微授精は本センターに」を役割分担とした地域医療連携ネットワークの構築を目指し、地域完結型の不妊治療の拠点として生殖医療提供体制のさらなる強化を図ります。

5月13日、松岡キャンパスの白翁会ホールで行った開所式で、医学部産科婦人科学教授の吉田好雄センター長は「地域の医療機関とも連携をしながら、福井県の不妊治療の拠点にしていきたい」と話し、上田孝典学長は「不妊に悩む夫婦の負担軽減の一助になりたい」と挨拶しました。

「水を使わない超臨界流体による染色技術」により、従来技術からエネルギーを45%削減



5月に工学部物質・生命化学科の廣垣 和正准教授と本学発ベンチャー企業のサステナテック株式会社 堀 照夫代表取締役社長（福井大学産学官連携本部 客員教授）による「無水・CO2無排出染色加工技術の開発」が、2022年度「NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム」の「エネルギー・環境新技術先導研究プログラム」に採択されました。

本事業では、繊維の染色加工における全行程（精練・染色・機能付与）で、水に代わり超臨界二酸化炭素（scCO₂）を利用する技術を開発します。通常の染色では大量の水を使用しますが、scCO₂による染色（無水・CO₂無排出染色加工技術）は、压力容器の中で二酸化炭素を高温、高压にし、気体でも液体でもない超臨界流体と呼ばれる状態で繊維を染色します。染色加工の全工程で廃水を出さないため環境負荷の低減と工程の合理化の両面が期待できます。また、使用したCO₂の回収・再利用により、CO₂排出量を実質ゼロ近くまで削減することを見込んでいます。

この技術の確立に向け、福井大学、サステナテック株式会社を中心に、協力企業10社と京都工芸繊維大学、福井県工業技術センターが染料や薬剤の開発、衣料用繊維の種々に対応した染色整理・加工の研究を推進します。

世界初の本技術が確立できれば、日本の染色整理産業の基盤強化、国際競争力の再強化が図れ、加えて本技術の海外展開により、地球環境問題解決への貢献も期待できます。

本学の繊維研究が 2022年度「NEDO先導研究プログラム／ 新技術先導研究プログラム」に採択されました



産学官連携本部の イベント

9月6日(火)
JST新技術説明会
(オンライン開催)

10月4日(火)～10月31日(月)
JSTイノベーションジャパン
(オンライン開催)

※詳しくは産学官連携本部のホームページ
<http://www.hisac.u-fukui.ac.jp/>
でご案内します。



こんにちは！2018年夏号から始まったこのコラムでしたが、残念ながらしばらくお休みすることになりました。「学章の意味」をスタートに「アイデアを保護する権利」、「弁理士という職業」、「特許とジェネリック医薬品」、「成果の帰属について AIは?」、「大学が創出する知的財産とブランド」、「ネット上での著作権注意事項」、「特許の歴史」、「特許の権利化までの流れと費用」、「老舗の『のれん』と登録商標」、そして前号では「知的創造サイクル」と、皆さんに知財のよもやま話をしてきました。大学のミッションは知的財産を創出していくことで、その創出した財産を守り活用するのが知的財産部・技術移転部のミッションです。今度は、皆さんの創出した知的財産でお会いできるのを楽しみにしています。



過去のコラムはこちら ▶

NEWS 広報課が選んだ ふくだいニュース



3年ぶりの開催！ 福井大学「越祭(こしのさい)2022」



毎年5月に文京キャンパスで開催される福井大学祭は、2020年、2021年と新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年は5月28日(土)、29日(日)の2日間、無事開催されました。越前の「越」から名前をとった「越祭(こしのさい)」という名称になった大学祭。「開花」をテーマにダンスやアカペラ、楽器の演奏など、一度しほんでしまった大学祭の活気を取り戻したいという思いでパフォーマンスが披露されました。学生による模擬店も賑わい、お茶会、書、写真の展示、折り紙で制作した恐竜の展示など、晴天に恵まれ3年分の思いが溢れた大学祭でした。



学内インターンシップ企業研究会を開催



本学キャリア支援課が「学内インターンシップ企業研究会 in 福井大学」を5月21日(土)、22日(日)に、文京キャンパスで行いました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの対面開催となった今回は、福井県内外の152の企業が午前と午後の部に分かれて出展し、会社概要やインターンシップ情報がブースで担当者から紹介されました。

就職活動を控える学部3年生と大学院1年生を主としつつ、学部の1、2年生も参加がOKだったことから、延べ約2,700人の学生が参加しました。企業のことを知りたい、これから将来を考えるために学びたいという学生が企業の担当者へ熱心に質問していました。

参加学生は「実際に対面して聞くと調べただけでは分らない情報が聞けた」「社会人はどの部署についてもその企業を説明できるよう学ぶ必要があることがわかった」と話すなど様々な視点で将来を考える機会となりました。



コロナ禍で活動は思うように
できないかもしれないけれど

It's My CIRCLE

だからこそ工夫をこらした
交流が始まっているよう。

右の二次元バーコードから
チェック！



福井大学の旬なニュースを、旬なままお届け！



情報配信サービス「connect Ufukui」



教育・研究情報だけでなく、
学生の活動や大学のイベント
など、より良い情報発信を目
指していきます。

connect Ufukui
限定情報の配信も
予定！

メールアドレスの入力とユーザ
ーカテゴリーを選ぶだけの簡
単3ステップで登録できます。

二次元バーコードを読み取り
登録フォームへ。





地域で頑張る人を応援したい
その気持ちは
どこにいても変わらない



北陸銀行
福井西中央支店
融資課
渋谷 桃佳さん
SHIBUYA Momoka
2020年度
国際地域学部
国際地域学科卒業



野菜スムージーの企画がビジネスコンテストでグランプリに

大学3年生の夏、集中講義の「ベンチャービジネス概論」を受講したことがターニングポイントになりました。当時、私は地元の農産物直売所でアルバイトをしていて、野菜についてもっと知りたいと思い、野菜ソムリエの資格を取ったばかりでした。その授業では学生たちが実際に新しいビジネスを企画立案するのですが、私は野菜ソムリエの資格を生かし、野菜スムージーを農産物直売所で対面販売するビジネスを提案。野菜が不足しがちな現代人でも、スムージーにすれば気軽に取れるし、何よりおいしい！廃棄の野菜も無駄なく使えます。そんな発想が評価され、私のプランは「福井発！ビジネスプランコンテスト2018」の一般部門でグランプリを受賞できました。自分のアイデアが評価され、カタチになったことはうれしかったですね。この経験をきっかけにチャレンジすることが楽しくなりました。福大生協が開催する商品コンテストでスムージーアイスを提案し、最優秀賞を受賞したこともあります。4年生では南越前町の地域活性化事業「まちみらいチャレンジ」に参加。地元食材を宣伝するため、地産野菜を使った料理のレシピをSNSで発信し、イベントも開催しました。地元の活性化を目指す方が集うゲストハウスに何度も通い、町おこしにおいてコミュニティに入り込むことの大事さも学びました。この活動は継続していて、私にとってライフワーク。今もイベントのチラシづくりなどお手伝いをし

銀行員としての知識や経験を地元へ還元していきたい

銀行に就職して2年が経ち、今はカスタマーサービスと兼任して融資係を担当しています。融資の仕事は、金融の専門知識はもちろん、世界情勢や地域経済など幅広い知識が必要。勉強の毎日です。仕事を通して経営者や起業家などさまざまなバックボーンを持つ方と接することで知識を積み重ね、それを地元へ還元していきたいです。ライフプランなど相手に寄り添った提案をする今の仕事には、国際地域学部で地域課題を探究したことや、地域の方とふれあいながらニーズを掘り起こした経験が生かせていると感じています。マニュアル通りではなく、自分で考え、行動し、カタチにしておく。これが私が何をやる上でも大事にしていることです。銀行員として地域で頑張る人をサポートする上でも、銀行の可能性を広げるようなアイデアを出して自分らしい仕事ができばと思っています。自分がワクワクしてこそ、地域を盛り上げていけるはずですから。

My memories



南越前町でのイベントでは「SNSを見て来ました」と声をかけてもらい、うれしかったです。



野菜スムージーの試飲イベント。ヘルシーさとおいしさのバランスを工夫しました！



BOX No.

07

思いがけない笑顔



街頭活動をする私（写真左）

私は大学時代が自宅通学のせい、あまりバイトなどでの街頭活動の経験がない。そんな私が還暦を過ぎた頃にそれらしき貴重な経験をした。当時私は、医学部長を拝命していたが、国から大学への重要な予算である運営費交付金について、5年間で約13億円もの削減の可能性が出てきた。そこで当時の福田優学長の指示で、大学役員が手分けして県内各地に出向き、街頭で県民の方に削減反対の署名活動を行った。私は敦賀の担当であった。

予定されたある休日の朝、最初に署名くださった方は高齢の男性であった。主旨を説明すると快く署名頂き、後でおっしゃるには、元本学教員の方で、こちらが励まして頂いた。その後、場所をいくつか変え、活動を続けた。それでも、どんどん署名を頂けるというわけにはいかず、この様な大義名分のあるものでも結構難渋したこともあり、そんな中で署名し、ピラを受け取っていた皆様については、誠に有難かったです。その訳は、第一には勿論、我々の主義主張に賛同いただき、多くの署名が集まったことである。もう一つは、我々の活動成

果が手持ちのピラの減少というエビデンスで証明されつつある中、遂にはもうすぐ完結するというゴールの予感にもあった。特に我々が大学という高等教育機関から出向いていてもなかなか大変であったのに、バイトで引き受けた一般企業等の商品や店舗の街宣はいかに大変だろうと思った次第である。正直、街頭でティッシュなどを差し出され、受け取った時、その代価以上の100万ドルの笑顔が拝見できることがあり、不思議な気がしていたのであるが、その訳の一部が理解できた気持ちであった。

この一件以来、私は、そういった何気ないティッシュやクーパーなどを街角で差し出された時、それ以前はあまり受け取っていなかったが、できるだけ受け取るようになった。ご褒美はかなりの確率で拝見できるバイトの皆さんの素敵な笑顔である。皆さんも一度チャレンジしてみてください。

👤 学長 上田孝典

福井大学基金

ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

【福井大学基金の寄附状況】(平成24年5月~令和4年6月)

寄附申込数 6,330件(延べ数) 寄附金総額 5億236万5,522円

令和4年2月1日から6月30日までの寄附者ご芳名(五十音順)

個人

青木直	郁美	様	衛藤	社	司	様	亀	江	洋	子	様	柴	田	勝	博	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
青山直	美庸	様	笈	壽	子	様	川	上	英	治	様	嶋	川	真	真	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
浅井	竜	様	大	崎	香	様	川	本	義	海	様	清	水	清	水	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
朝倉	勝	様	太	西	純	様	川	北	泰	浩	様	下	城	白	神	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
朝倉	周	様	大	野	文	様	木	村	美	子	様	白	崎	新	野	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
新井	正	様	大	橋	智	様	国	栗	川	昌	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
荒川	好	様	岡	田	庸	様	栗	川	佳	吉	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
飯田	健	様	岡	田	庸	様	栗	川	佳	吉	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
五十嵐	公	様	岡	田	庸	様	栗	川	佳	吉	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
五十嵐	淳	様	岡	田	庸	様	栗	川	佳	吉	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
五十嵐	巳代治	様	岡	田	庸	様	栗	川	佳	吉	様	栗	川	佳	吉	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
井口	弘	様	沖	昌	也	様	河	野	裕	晃	様	高	岸	高	嶋	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
池尻	忠	様	小	木	曾	様	古	岡	義	之	様	砂	谷	善	木	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
池田	敦	様	小	奥	正	様	古	岡	義	之	様	砂	谷	善	木	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
池田	芳	様	小	奥	正	様	古	岡	義	之	様	砂	谷	善	木	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
伊佐	公	様	奥	野	博	様	五	島	裕	晃	様	高	岸	高	嶋	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
石井	将	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
石垣	宣	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
石川	宏	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
石田	一	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
伊藤	滋	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
伊藤	正	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
井上	彪	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
井上	真	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
伊部	隆	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
井町	正	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
井町	聡	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
岩井	善	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
岩井	利	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
上坂	治	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
上坂	貴	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
上田	晃	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
上田	弘	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
植松	智	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
鶴飼	智	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
笛吹	茂	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
内田	博	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
梅田	希	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様
梅本	修	様	尾	毛	是	様	小	林	洋	平	様	高	橋	二	三	様	田	中	義	人	様	西	海	豊	彦	様	細	井	俊	英	様	森	田	俊	夫	様

法人・団体

株式会社アーサー級建築士事務所 様	株式会社クライム 様	株式会社竹中土木 様	株式会社ふじや食品 様
株式会社アイシン福井 様	株式会社クラレ 様	株式会社TAS 様	ベルテクス株式会社 様
アイテック株式会社 様	グローバルゴルフネット株式会社 様	有限会社辻事務機商会 様	豊國福井株式会社 様
アカウントエージェンツ株式会社 様	クロケン株式会社 様	寺林建設有限会社 様	ポート株式会社 様
アシスト福井株式会社 様	Genky DrugStores株式会社 様	東洋染工株式会社 様	株式会社ホクシン 様
石黒建設株式会社 様	医療法人弘昭会大森整形外科 様	株式会社ナイガイ 様	株式会社ほくつう福井支社 様
株式会社伊藤電機 様	合同水産株式会社 様	西島木材株式会社 様	ポップコーン株式会社 様
一般社団法人インフォカート未来基金 様	株式会社ゴージュ 様	株式会社日本ビーエス 様	株式会社ボラリス 様
ウエストランバー株式会社 様	酒井電機株式会社 様	株式会社日本エーエムシー 様	株式会社松浦機械製作所 様
株式会社ウエマツ 様	嵯峨野株式会社 様	ノマドマーケティング株式会社 様	株式会社松川電機 様
株式会社エイチアンドエフ 様	三恵工業株式会社 様	平崎特許事務所 様	株式会社マッチングジャパン 様
永和住宅株式会社 様	三和繊維株式会社 様	株式会社ピルコン 様	株式会社マルキヤ宣広社 様
株式会社エコ・プランナー 様	株式会社塩浜工業 様	福井キャノン事務機株式会社 様	丸文通商株式会社 様
株式会社江守情報 様	ジビル調査設計株式会社 様	福井キャノンマテリアル株式会社 様	みどり建設株式会社 様
株式会社オーディオテクニカフクイ 様	株式会社ジャロック 様	福井システムズ株式会社 様	村田機械株式会社 様
OKUTAKE GROUP 様	株式会社シンカイ 様	福井放送株式会社 様	メイラ株式会社 様
小野谷機工株式会社 様	株式会社SHINDO 様	株式会社福井村田製作所 様	株式会社メディカルジャパン 様
株式会社キミコン 様	セーレン株式会社 様	株式会社福畜 様	森永北陸乳業株式会社 様
株式会社キューブコンサルティング 様	創文堂印刷株式会社 様	フクビ化学工業株式会社 様	ユアサ株式会社 様
共同コンピュータ株式会社 様	株式会社soelu 様	藤井防災エネルギー株式会社 様	横田建設株式会社 様

ほか 匿名希望3件

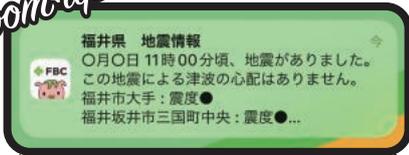


しあわせに
しますから
あなたにぴったり170年

福井の暮らしに欠かせない情報が届く！

FBCアプリ 好評配信中！！

Zoom up!



毎日のログインで
ポイント獲得！

たまったポイントで
プレゼント交換や抽選ガチャに挑戦



防災・災害
情報が届く！

地震情報・気象情報・避難情報を
県内エリア別にプッシュ通知
不審者やクマの出没情報も
お届け



FBCアナウンサー
坂本優太

福井県の
最新ニュースが
届く
県内各地の旬な
情報を毎日更新！



FBCアナウンサー
増谷寧々



ふくい「いま」と「お得」を届ける

FBCアプリ

ダウンロード・アプリ利用料

無料
¥0 FREE!

※通信料はお客様負担になります



iPhone

ダウンロードはこちら



Android

ダウンロードはこちら



アプリストアで

Q FBCアプリ

と検索